

環境建築家に聞く

子どもの施設でも安心して使えるキシラデコール

30年の信頼で使う木材保護塗料

環境建築家として活動する仙田満氏が、建物外装の木部に木材保護塗料「キシラデコール」を使うようになって30年近くになる。その間の実績から、木材の耐久性、美観の維持、そして健康安全性まで、総合的に信頼できる塗料であることを確認している。キシラデコールを信頼するに至ったこの30年を、仙田氏に語ってもらった。



環境建築家 環境デザイン研究所会長 仙田 満 氏

1968年に設立した「環境デザイン研究所」という事務所名からも分かるように、仙田氏はかなり早い時期から環境に目を向けて建築活動を続けてきた。そんな仙田氏が、木材保護塗料「キシラデコール」に着目した時期も、やはり早かった。

「初めて使ったのは『バナナハウス』じゃなかったかな」。仙田氏はそう記憶している。富士山麓に建つ別荘「バナナハウス」(山梨県、1982年)は、仙田氏の代表作の一つに数えられる。スロープの立地を生かし、森の木立に溶け込むように計画されたバナナハウスは、まるごと木の外装材で包まれている。

「当時は、木材の防腐効果を期待した」と振り返る仙田氏が、同時にこだわったのが塗装色だ。数あるラインアップから試し塗りをした末に選んだ色はブルーグレイだった。

その色を、「木目になじんで、木の素材感が生きるし、時間が経つに連れていい風合いが出てくる」と評価する仙田氏にとって、ブルーグレイは今も定番カラーだ。バナナハウスに続く「軽井沢640」(長野県、84年)から、最近の「猿島公園施設」(神奈川県、2006年)に至るまで、外壁を木で仕上げる際には、一貫してキシラデコールのブルーグレイを塗ってきた。

定期的な再塗装で 築25年でも劣化しない木材

木材の保護にキシラデコールを使う仙田氏だが、当然ながら、長く木を生かすためには、塗料以前に建築計画が大切だと説く。敷地条件などから難しいこともあるが、庇を出すなどして、できるだけ外壁の木部に雨が当たるのを避け、かかった雨が乾きやすいように計画するのが基本だ。加えて、定期的に塗料を塗り直す維持管理が、木を長持ちさせるためには不可欠だという。

事実、仙田氏の作品には、適切な維持管理によって、新鮮な外観を保つものが少なくない。例えば、築

25年以上になる「軽井沢640」は、クライアントが定期的に再塗装をしており、「外壁は今もきれいで、木も全く劣化していない」という。

早くから子どもの育成環境に関する研究に取り組み、現在も「こども環境学会」の代表理事を務める仙田氏は、これまでに数多くの木製遊具を設計している。「子どもたちが触れる遊具は、やはり木製がいい。一般的なスチール製の遊具は、夏は熱く、冬は冷たくなるが、木製ならばそういうこともない」。

一方で、苦い教訓もある。木製遊具は屋外に設けるので、当然、耐久性には配慮した。できるだけ屋根を架け、そのうえでキシラデコールを塗ってきた。しかし、様々な制約から屋根を架けられなかった遊具では、長期の耐久性を得られないこともあったという。

健康安全性も含めて 実績に裏付けられた信頼

幼稚園や保育園といった子どもの施設も数多く手がけてきただけに、塗料を再検証した時期もあった。建材に含まれる化学物質が一因とされ

背後の森との調和と、目の前の海の景観とを意識して計画された猿島公園施設。海の面した立地ながら外装に木を使い、木材保護塗料で塗装した

所在地/神奈川県横須賀市猿島 建築主/横須賀市 設計・監理/仙田満+環境デザイン研究所 竣工/2006年6月



(写真提供/環境デザイン研究所)

仙田氏が初めてキシラデコールを使った個人の別荘「バナナハウス」。このことからブルーグレイ色を使い続けている

所在地/山梨県山中湖町 設計・監理/仙田満+環境デザイン研究所 竣工/1982年1月



るシックハウス問題が、社会の関心を集めたところだ。

しかし、結果として、キシラデコールへの信頼が揺らぐことはなかった。「これまでに問題が生じたことはない。私たち自身の30年近い実績のなかで、安全性や耐久性、意匠性などトータルに評価している」と、仙田氏は話す。

21世紀を迎えて社会全体が環境を意識するようになり、木材の活用が再認識されている。「これからの設計者には、積極的な木の活用が求められるが、その際には適切な使い方と、木材を保護する工夫が欠かせない」。自らの経験に照らしつつ、仙田氏はこれからの木材利用についてそうアドバイスする。

民間の保養所「軽井沢640」。深い庇を持つ外壁一面にカラマツを張っている。定期的な再塗装によって、完成から25年以上経った今でも劣化せず、木の味わいを増している
所在地/長野県軽井沢町 設計・監理/仙田満+環境デザイン研究所 竣工/1984年6月 (特記以外の建築写真/藤塚 光政)



木材保護のトータルソリューションパートナー

日本エンバイロケミカルズ株式会社



キシラデコール
JASS18 M-307 適合品



キシラモン

製造販売
日本エンバイロケミカルズ株式会社
販売先: AkzoNobel Deco GmbH

大阪 〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドームシティガスパビル ☎ 06-4393-0054
東京 〒105-0014 東京都港区芝二丁目5番10号 芝公園NDビル3階 ☎ 03-5444-9860

☎ 0120-124-123 www.jechem.co.jp [キシラデコールに関する情報満載! ▶ www.xyladecor.jp]